

MESHSTATSアプリケーションアイデアソン2026

旅行 × MESHSTATS

「観光の“効果”を再定義せよ」
— 行くことで、地域はどう変わったか —

神戸大学バリュースクール

神戸大学バリュースクール（V.School）とは

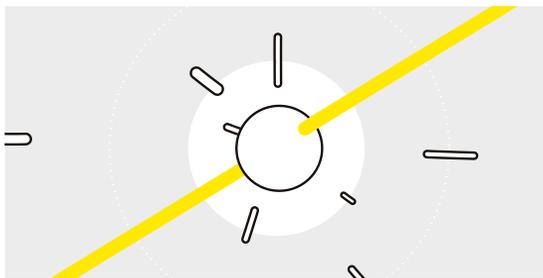


V.Schoolは、研究科・学部の壁を越え、さまざまな専門分野の学生が一緒になって、新しい価値を生み出す活動や講義を通して学び、自らの専門分野を俯瞰的に理解する場です。



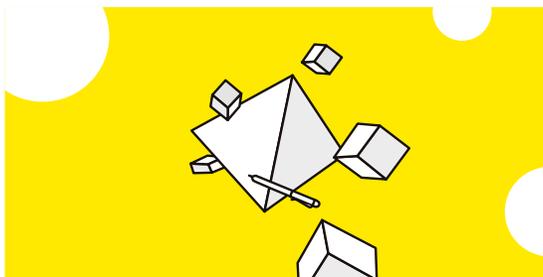
1. 教わるのではなく、考え抜く場

「価値」は人によって違います。各々の「価値」を見つけるために、教師が学生へ向けて講義をするのではなく、V.Schoolに集う人たちが共に問いを立てて考え抜くことを実践します。



2. 情報ではなく、気づきを得る場

教科書や論文、最新ニュースなどの情報は、ネットを探せばどこでも手に入ります。V.Schoolは、情報を提供するのではなく、物事を捉える視点を提案し、価値創造につながる気づきが生まれることを大切にします。



3. プランではなく、プロトタイプの間

考えたアイデアやコンセプトを具体的なカタチにすることは、とても勇気のいることです。V.Schoolは、立案にとどまらず、実際に**モノ・コトを創って**、価値を実現しようとする人たちと協働していきます。

観光はこれまで、

- ・ 来訪者数
- ・ 消費額
- ・ 宿泊者数

といった量的指標を中心に評価されてきました。

しかし現在、オーバーツーリズムが問題視される中で、次のような問いが浮かび上がっています。

- ・ 人が「来た」ことで、地域は本当に良くなったのか
- ・ 観光は、地域の産業・学び・関係性を育てているのか
- ・ 数字は増えているが、何が失われていないか

「多い／少ない」では捉えきれない変化を、どのように可視化し、判断に活かせるのかが問われています。

「観光の“効果”を再定義せよ」
— 行くことで、地域はどう変わったか —

本課題では、MESHSTATSを用いて、
観光によって地域に生じた「効果」や「変化」を可視
化するアプリケーションを提案してください。

評価対象は、経済効果に限られません。

- ・ 地域循環：地域の産業・人・資源にどのように波及したか
- ・ 学び：理解・参加・行動の変化はあったか
- ・ 関係性：再訪・継続的な関与につながっているか

「行くこと」が、地域にどのような意味をもたらしたのかを、データを通して問い直してください。



テーマの概要

本テーマでは、「旅行」を単なる移動や消費ではなく、地域との関係が生まれる行為として捉え直します
観光客数や消費額では見えにくい、地域の変化・波及・つながりに着目します
MESHSTATSを用いて、観光の“効果”を可視化し、問いとして提示することを目指します

募集するアイデア

- ・観光によって地域に生じた変化・影響・波及を捉えるアイデア
- ・数値の大小を競うのではなく、「何を効果とみなすか」を定義する視点
- ・行政・地域・旅行者など、誰の意思決定に使われるかが想像できるもの

アイデアの例

- ・観光客数の増減と、地域の事業所数やイベント数の変化を重ね、観光が地域活動にどう波及しているか
- ・再訪者数や滞在日数の変化から、「一度きりの観光」と「関係が続く観光」の違いを可視化する
- ・観光が集中するエリアと、地域資源や学びの場との距離感を示すマップを作る

評価のポイント

- ・問いの立て方：何を「観光の効果」と捉えたかが明確か
- ・データと視点のつながり：選んだデータが、問いに対して意味を持っているか
- ・可視化のわかりやすさ：見た人が「なるほど」と気づけるか
- ・意思決定への示唆：誰が、どんな判断に使えるそうかが想像できるか

副賞

Amazon ギフトカード



参照データ

① 観光・移動に関するデータ

- ・観光入込客数
- ・延べ宿泊者数
- ・滞在日数

主な出典

- ・観光庁
- ・e-Stat

② 地域経済・産業に関するデータ

- ・産業別事業所数・従業者数
- ・商業・サービス業統計
- ・農業・漁業の基礎統計

主な出典

- ・e-Stat
- ・農林水産省

③ 学び・関係性に関するデータ

- ・文化施設・公共施設数
- ・地域イベント・講座情報（自治体OD）
- ・移住・関係人口関連データ（自治体OD）

主な出典

- ・各自治体オープンデータポータル
- ・e-Stat

